

目 次

（広島市ってこんなまち）

市の概要	1
魅力ある観光資源	2
四季折々のイベント	3
観光動向	4
ザ・広島ブランド	5

（世界に誇れる「まち」の実現に向けて）

市政推進に当たっての基本コンセプト	6
活力とにぎわい	11
ワーク・ライフ・バランス	19
平和への思いの共有	20

（世界に誇れる「まち」を実現していく財政運営）

「中期財政収支見通し」	22
「財政運営方針」	23

（予算・決算等の状況）

平成24年度当初予算	26
決算収支の推移と平成23年度決算	27
市税収入決算の推移	28
財政調整基金残高の推移	29
一般会計市債残高の推移	30

（広島市の財政の現状分析）

健全化判断比率の状況	31
プライマリーバランスの推移	32
広島市の財務書類4表	33

（広島市債について）

市債の紹介	37
起債運営方針	38
発行計画	39

市の概要

～広島市ってこんなまち～

■ 人口 1,180,787人 (20政令市中第10位)

(平成24年8月1日推計人口)

■ 面積 905.41 km² (20政令市中第4位)

(平成23年年10月1日現在)

■ 気象 平均気温16.2℃ 年間降水量1,502mm

いわゆる「瀬戸内気候区」に属している。

ロケーション



略年表

- 明治22年 市制施行
- 昭和20年 原子爆弾により壊滅
- 昭和24年 「広島平和記念都市建設法」公布
- 昭和55年 政令指定都市広島誕生
- 昭和60年 人口100万人突破
- 平成元年 市制施行100周年
- 平成6年 第12回アジア競技大会広島開催
- 平成17年 湯来町編入合併
- 平成21年 (新)広島市民球場開設
- 平成22年 政令指定都市移行30周年
- 平成23年 松井市長就任



太田川デルタ

魅力ある観光資源

～広島市ってこんなまち～

広島ビッグアーチ



湯来ロッジ



不動院金堂(国宝)



広島城



平和記念公園



広島市現代美術館



MAZDA Zoom-Zoomスタジアム 広島



四季折々のイベント

～広島市ってこんなまち～



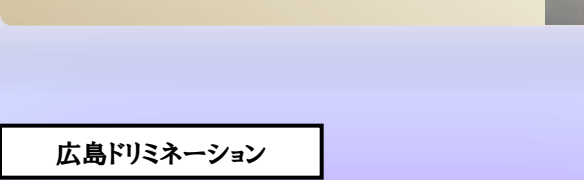
広島フラワーフェスティバル

春

夏



広島夢みなとまつり



広島ドリミネーション



ひろしまフードフェスティバル



冬

秋

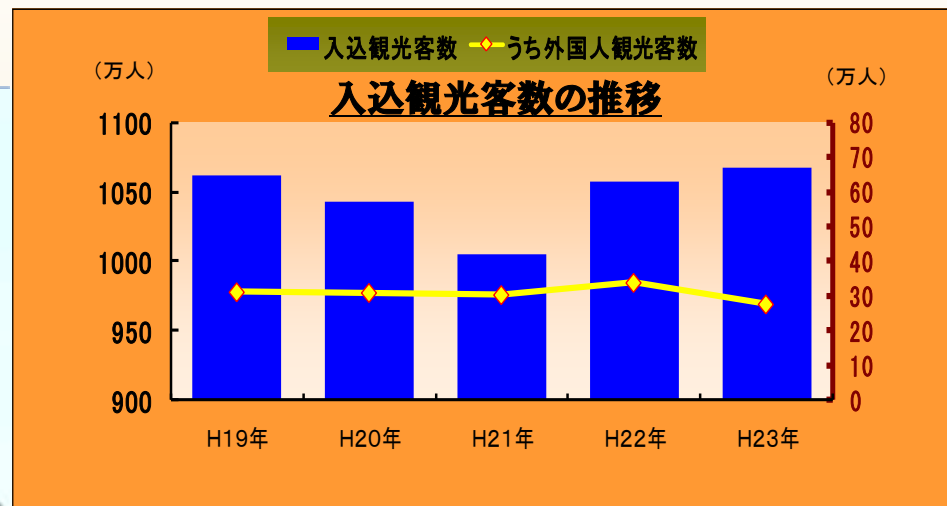


観光動向

- 入込観光客数 1,067万3,000人(うち外国人観光客27万7,000人) (平成23年)
7年連続で1,000万人を上回り過去最高 外国人観光客数は東日本大震災の影響により減少



原爆ドーム



ユネスコ
世界文化遺産



厳島神社(廿日市市)



The Hiroshima Brand

ザ・広島ブランド

広島市
認定

～広島市ってこんなまち～

■ 広島の特産品で特に優れた食品・工芸品等を認定し、全国に向けてPR
平成19年度に創設し、現在、62品を認定

味わいの一品

〔農水産物〕



〔加工品・惣菜〕



〔調味料〕



〔酒〕



〔菓子〕



匠の銘品



市政推進に当たっての基本コンセプト ~世界に誇れる「まち」の実現に向けて~

目指すべき「まち」の姿

市民が世界に 誇れる「まち」

誰もが「生きることの素晴らしさ」を
心と体で実感できる「まち」

実現のための三つの要素

「活力とにぎわい」

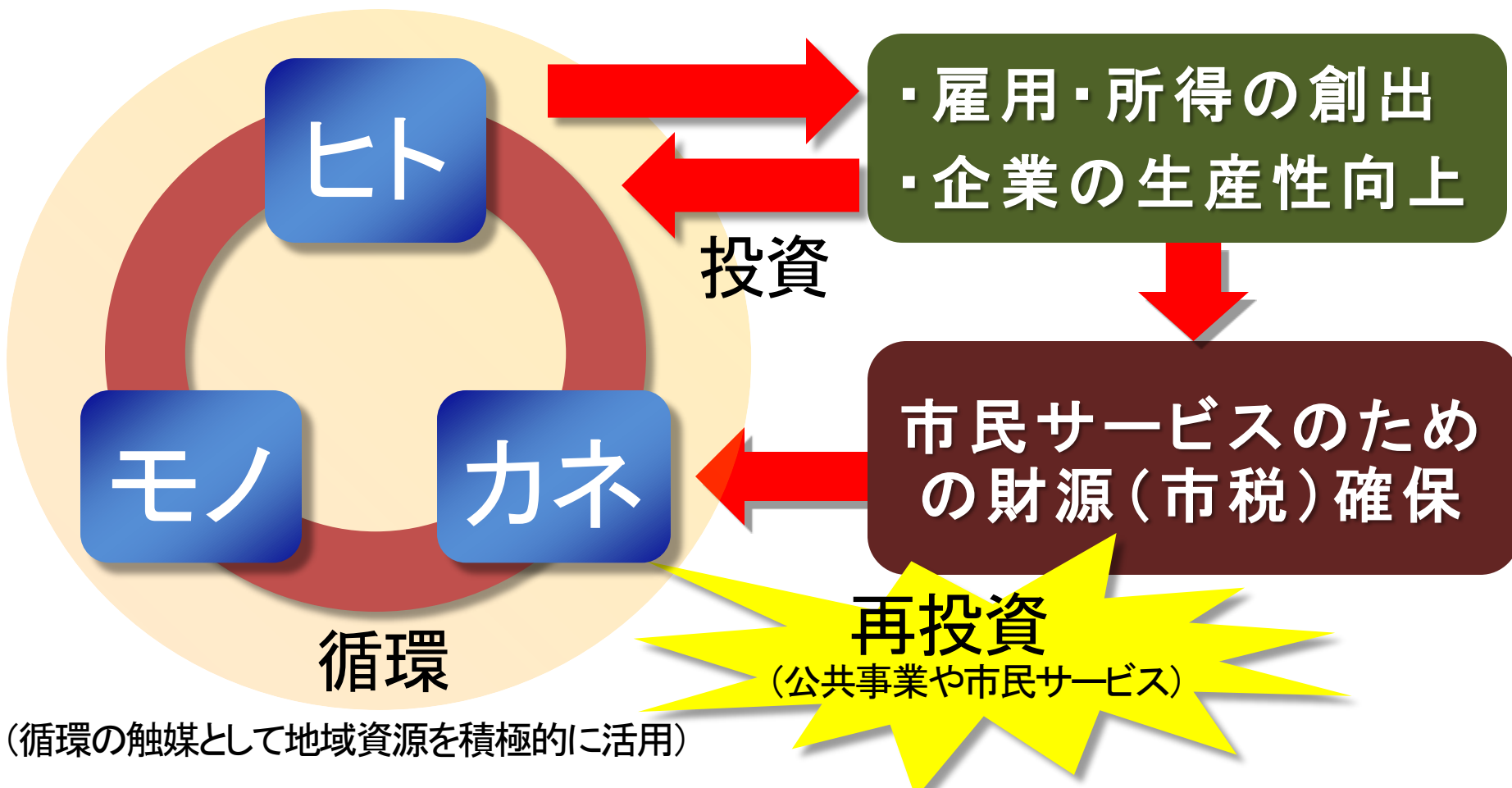
「ワーク・ライフ・バランス」

「平和への思いの共有」

市政推進に当たっての基本コンセプト ~世界を誇る「まち」の実現に向けて~

まずは土台づくりから ~土台は「活力とにぎわい」~

地域経済の持続的な発展により実現



市政推進に当たっての基本コンセプト ~世界に誇るまちの実現に向けて~

市民が生き生きと暮らすためのステージづくりへ

地域経済の活性化

財源確保

保健・医療・福祉・教育の充実
スポーツ・文化芸術の振興
など諸施策の充実

多様な雇用の確保
市民生活の質の向上

市民が生き生きと暮らすことのできるステージ
「ワーク・ライフ・バランス」の実現

市政推進に当たっての基本コンセプト ~世界に誇れる「まち」の実現に向けて~

平和への思いの共有

広島は「平和の尊さ」を体現するまち

広島の願いである核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指して

被爆者の体験
平和への思い

引き継ぎ、共有

市民

実相に触れ共有

核保有国の為政者
多くの人々

市政推進に当たっての基本コンセプト ~世界に誇れるまちの実現に向けて~

目指すべき「まち」のイメージ



活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

楕円形の都心づくりの推進



活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

広島駅周辺の整備

■二葉の里
土地区画整理事業

■広島駅自由通路及び新幹線口
ペデストリアンデッキ

■若草町地区市街地再開発事業
(平成23年3月事業完了)

■広島市民球場
周辺地区開発

■南口Bブロック市街地再開発事業

紙屋町・八丁堀周辺地区との連携

■南口Cブロック市街地再開発事業

マツダスタジアム

(平成21年4月オープン)



活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

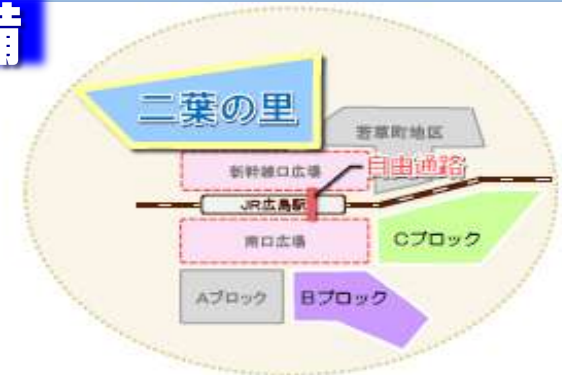
広島駅周辺の整備



活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

二葉の里地区及び広島駅自由通路等の整備



二葉の里土地区画整理事業

- ◎ 平成22年7月
事業計画認可、事業着手
- ◎ 平成23年2月
基盤整備工事着手
- ◎ 平成25年度
基盤整備完成予定

広島駅自由通路 完成予想図



広島駅自由通路の整備

- ◎ 平成21年1月
都市計画決定
- ◎ 平成24年度
本体工事着手
- ◎ 平成29年度
供用開始予定

活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

広島駅南口Bブロック市街地再開発事業

Bブロック

完成予想図

延床面積:約124,800㎡
住宅戸数:514戸
高さ:約193m(西棟)
約46m(東棟)



広島駅南口Bブロック市街地再開発事業

【出店予定事業者】

西棟 ビックカメラ
もみじ銀行
メガネのタナカ など
(平成24年10月時点)

【今後の予定】

- ◎ 平成24年度
権利変換計画申請・認可
建築工事着手
- ◎ 平成27年度
再開発ビル竣工予定

広島駅前広場から見た外観イメージ
(平成24年6月の事業計画変更認可申請時点(組合作成))

活力とにぎわい

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

広島駅南口Cブロック市街地再開発事業

Cブロック

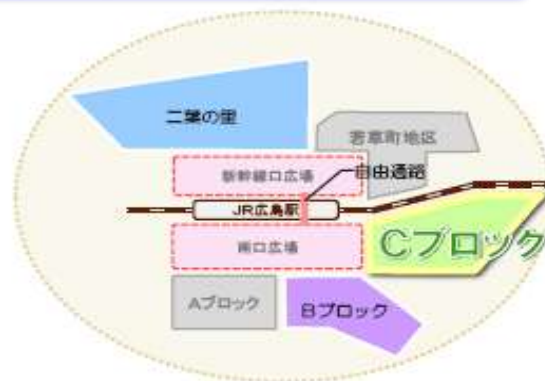
完成予想図

延床面積:約99,900㎡
住宅戸数:480戸
高さ:約180m(住宅棟)
約42m(商業棟)



商業棟

住宅棟



広島駅南口Cブロック市街地再開発事業

【出店予定事業者】

商業棟 エディオン など
(平成24年10月時点)

【今後の予定】

- ◎ 平成24年度
組合設立・事業計画認可
権利変換計画申請・認可
- ◎ 平成25年度
建築工事着手
- ◎ 平成27年度
再開発ビル竣工予定

駅前大橋北詰から見た外観イメージ
(平成24年3月の組合設立認可申請時点(準備組合作成))

旧広島市民球場跡地の活用

- 旧広島市民球場跡地を含む紙屋町・八丁堀地区は、広島駅周辺地区とともに、本市の活性化を図る上で重要な拠点となる地区であり、より一層魅力を高めることが必要。

■ 方向性

若者を中心とした「にぎわい」のための場

■ 委員会の設置

市民等から広く意見を聴くため、各界各層の市民等で構成する「旧広島市民球場跡地委員会」を設置し、長期的な視点とまちづくりの視点から検討

■ 今後の予定

委員会における議論を踏まえ、平成24年度末までに跡地の活用方策を策定



ひろしま菓子博^o2013

第26回全国菓子大博覧会・広島

～世界にとどけ！笑顔をもすぶお菓子のちから～



プールサイドカフェ



全国お菓子バザール



全国お菓子めぐり館



お菓子の学校



お菓子のテーマ館 & お菓子美術館



夢のお菓子ランド

マスコットキャラクター



かしなりくん



スイーツ姫

開催期間：平成25年(2013年)4月19日(金)～5月12日(日)

場所：旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館及びその周辺

主催：第26回全国菓子大博覧会・広島実行委員会

(広島県菓子工業組合、広島県、広島市、広島商工会議所 外)

ワーク・ライフ・バランス

～世界に誇るまちの実現に向けて～

(1) 雇用の促進等

(2) 保健・医療の充実

(3) 福祉の充実

(4) 未来を担う子どもの育成

(5) スポーツ・文化芸術の振興

(6) 安全・安心に暮らせる生活環境の整備

核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現

～先人の築いた成果をしっかりと受け継いで～

■ 平和市長会議

加盟都市数 **153** 国・地域 **5,296** 都市
※2011年9月に5,000都市を突破 (2012年7月1日現在)

■ 2020ビジョン (核兵器廃絶のための緊急行動)

- 中間目標 2015年までに核兵器禁止条約を締結
- 最終目標 2020年までに全ての核兵器を廃絶



第8回平和市長会議理事会参加者

第8回平和市長会議理事会の開催(2011年11月)

【主な決定事項】

- ・ 「核兵器禁止条約」の交渉開始を求める市民署名活動の展開と署名の国連等への提出
- ・ 「核兵器のない世界」の実現を促す要請文や声明文の効果的な発信
- ・ 加盟都市5,000突破を記念した原爆ポスター展の開催
- ・ 2013年に広島で開催予定の総会への各国軍縮大使や国連関係者の招へい など

◎ 財政基盤の強化など平和市長会議の今後の運営について検討する委員会の設置を決定

平和への思いの共有

～世界に誇れる「まち」の実現に向けて～

「迎える平和」の推進 ～核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて～

■ 核保有国をはじめとする各国の為政者に広島に来てもらい、被爆の実相に触れ、平和への思いを共有し、核兵器廃絶の実現に向けて努力してもらうことが重要

➤ 為政者をはじめ、より多くの人々に広島を訪れてもらうための取組

・NPT再検討会議等国际会議の誘致

➤ 訪れた人に被爆の実相を正しく伝えるための取組

・被爆者による証言活動に対する支援の充実

・被爆資料の収集・活用、平和記念施設の保存・整備等

➤ 折り鶴に託された平和への思いを昇華させるための取組

➤ 8月6日の平和宣言に被爆者の体験談を載せ、国内外に発信

「中期財政収支見通し」

～世界に誇れる「まち」を実現していく財政運営～

広島市財政の現状

～市の活性化に向けて乗り越えるべき課題～

- ・一般財源収入（市税・地方交付税等）の減少
- ・義務的な経費（社会保障費・公債費）の増加

財政収支見通し（平成24年度～平成27年度）

- ・4年間の累計で582億円の収支不足が生じる見込み

財政運営上の課題

- ・後年度の財政負担につながる事業のあり方を見直すことを通じて、収支構造そのものを変えていくことが重要
- ・今後見込まれる多額の収支不足を解消するためには、歳入・歳出の両面において、それぞれ適切な取組を行うことが必要

「中期財政収支見通し」

～世界に誇れる「まち」を実現していく財政運営～

広島市財政の現状

～市の活性化に向けて乗り越えるべき課題～

- ・一般財源収入（市税・地方交付税等）の減少
- ・義務的な経費（社会保障費・公債費）の増加

財政収支見通し（平成24年度～平成27年度）

- ・4年間の累計で582億円の収支不足が生じる見込み

財政運営上の課題

- ・後年度の財政負担につながる事業のあり方を見直すことを通じて、収支構造そのものを変えていくことが重要
- ・今後見込まれる多額の収支不足を解消するためには、歳入・歳出の両面において、それぞれ適切な取組を行うことが必要

「財政運営方針」

～世界に誇れる「まち」を実現していく財政運営～

「財政運営方針」の3つの基本方針

- ① 持続可能な財政構造を確立する財政運営
- ② 地域の活力を生み出す財政運営
- ③ 将来世代への責任を果たす財政運営

計画期間内の目標

計画期間：平成24年度から平成27年度までの4年間

① 収支不足の解消

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足（平成24年度51億円、平成25年度145億円、平成26年度163億円、平成27年度223億円、累計582億円）の解消を図る。

② 市債残高の抑制

政令指定都市の平均を約2割上回っている市民一人当たりの市債残高について、政令指定都市の平均水準を下回るようにする。

（10年間で目標を達成できるよう、臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた市債残高を、今後4年間で8%減少させる。）

③ 財政調整基金を概ね75億円確保（平成27年度末）

「財政運営方針」

①収支不足の解消策

「持続可能な財政構造を確立する財政運営」

- ◎市税収入等の確保(収納率の向上) (47億円)
- ◎未利用地等の売却促進・市有資産の有効活用 (63億円)
- ◎基金の活用(土地開発基金の取崩し) (27億円)
- ◎行政改革推進債の発行 (66億円)
- ◎人件費の削減等(組織・定数の見直し、退職手当債の発行) (171億円)
- ◎事務・事業の見直し(80億円)
- ◎内部管理経費の節減(50億円)
- ◎特別会計・企業会計の見直し(34億円)

「将来世代への責任を果たす財政運営」

- ◎公債費負担の軽減 (25億円)
(満期一括償還債等の可能な範囲での定時償還債への切換えなど)
- ◎投資的経費の縮減 (56億円)

「財政運営方針」

～世界に誇れる「まち」を実現していく財政運営～

②市債残高の抑制

(単位：億円、%)

区 分	平成24年度 (予算)	平成25年度		平成26年度		平成27年度		《参 考》	
								平成23年度末 (運営方針策定時の見込み)	平成27年度末残高 の平成23年度比
年度末市債残高	10,522	10,706	1.7	10,778	0.7	10,815	0.3	10,268	5.3
臨時財政対策債 残高等控除後残高	7,294	7,170	▲ 1.7	7,008	▲ 2.3	6,853	▲ 2.2	7,449	▲ 8.0

臨時財政対策債残高等控除後残高とは、

市債残高総額から臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額 **を除いた残高**

③財政調整基金を概ね75億円確保(平成27年度末)

(単位：億円)

区 分	平成24年度 (予算)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
財政調整基金残高	55	62	69	75

平成24年度当初予算

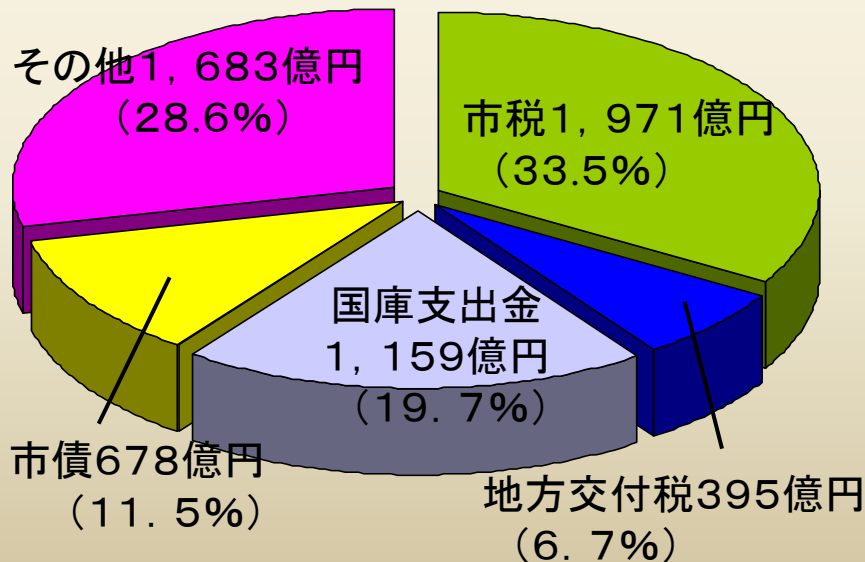
- 新たに策定した財政運営方針と世界に誇れる「まち」の実現に向けた基本コンセプトを踏まえ、「世界に誇れる『まち』の礎を築く予算」として編成
- 一般会計、特別会計、企業会計の全会計の予算規模は、1兆1,564億円で対前年度比0.8%の減で、3年ぶりの減少
- 一般会計の予算規模は、5,886億円で対前年度比3.3%の減で、8年ぶりの減少

全会計の予算規模1兆1,564億円

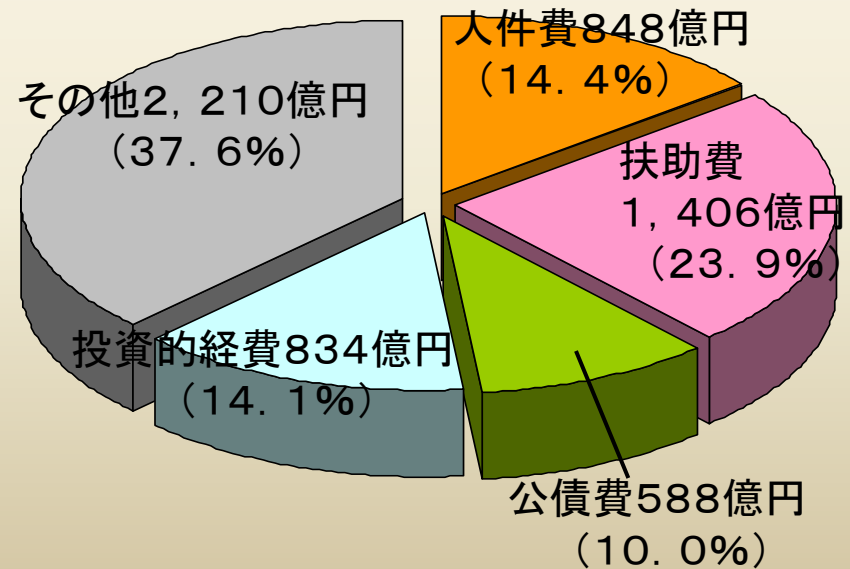
(単位：億円、%)

区分	平成24年度	平成23年度	差引	伸び率
一般会計	5,886	6,084	▲198	▲3.3
特別会計 (19会計)	3,642	3,649	▲7	▲0.2
企業会計 (3会計)	2,036	1,929	107	5.6
合計	11,564	11,662	▲98	▲0.8

一般会計歳入 5,886億円



一般会計歳出 5,886億円

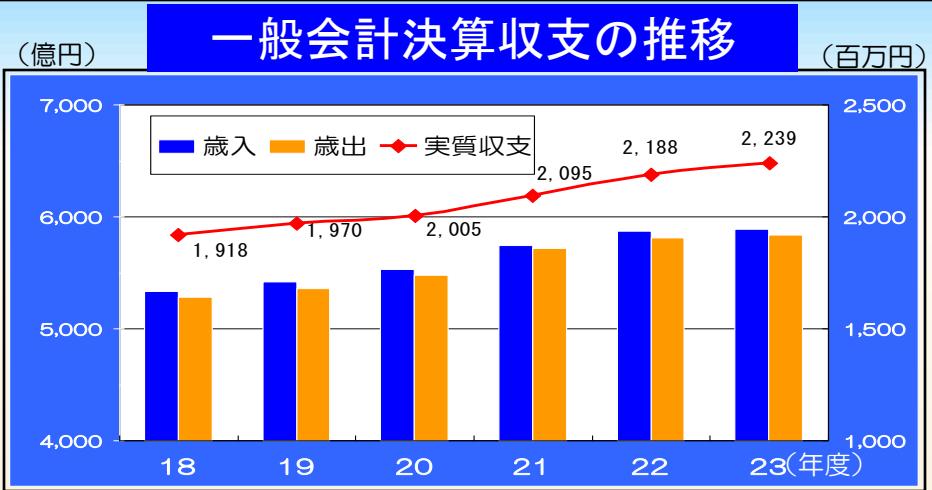


決算収支の推移と平成23年度決算 ~予算・決算等の状況~

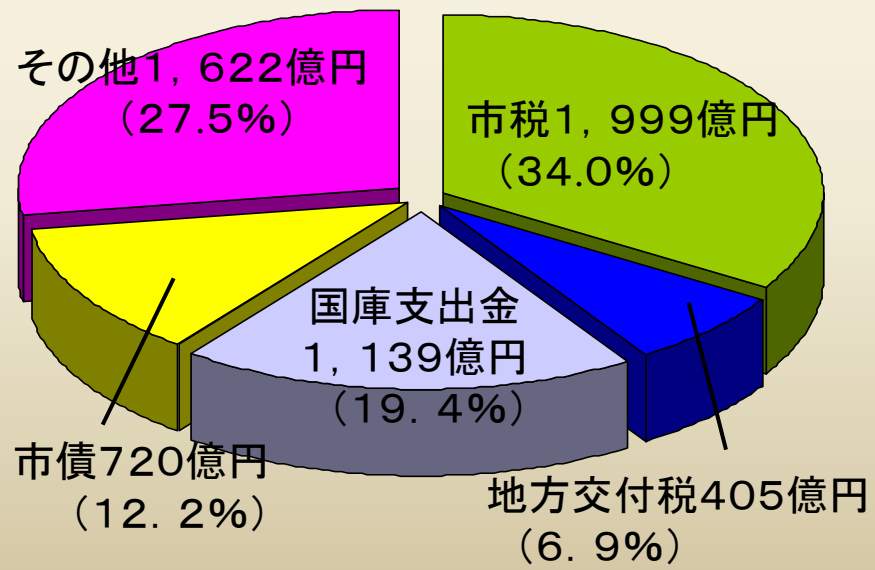
- 歳入歳出とも、平成18年度から6年連続で増加
実質収支は、平成15年度から9年連続で増加

※ 実質収支とは、形式収支（＝歳入総額－歳出総額）から翌年度に繰り越した事業に要する一般財源を差し引いたものです。

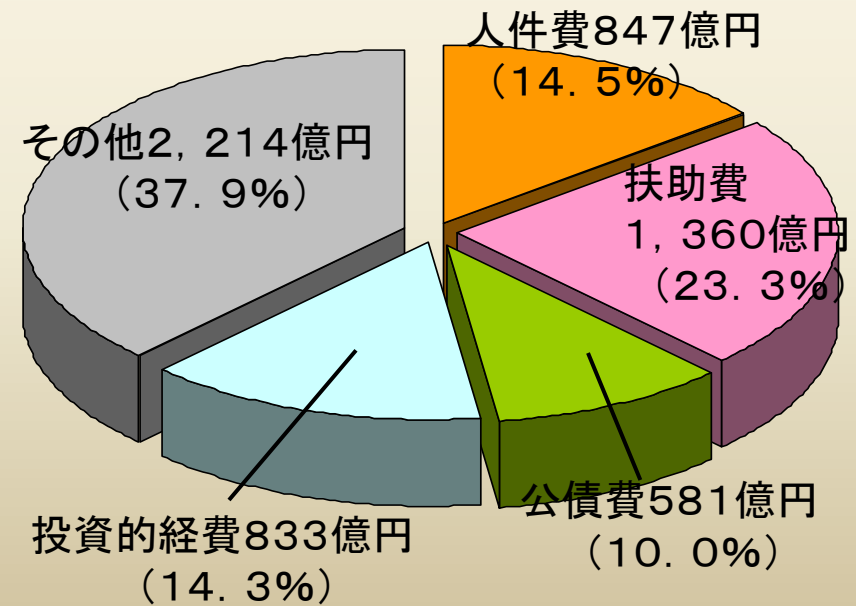
- 歳入では、市税が3年連続マイナス、市債が臨時財政対策債の増などにより前年度比1.2%の増
- 歳出では、公債費が前年度比2.8%の減、扶助費が前年度比4.5%の増



一般会計歳入 5,885億円

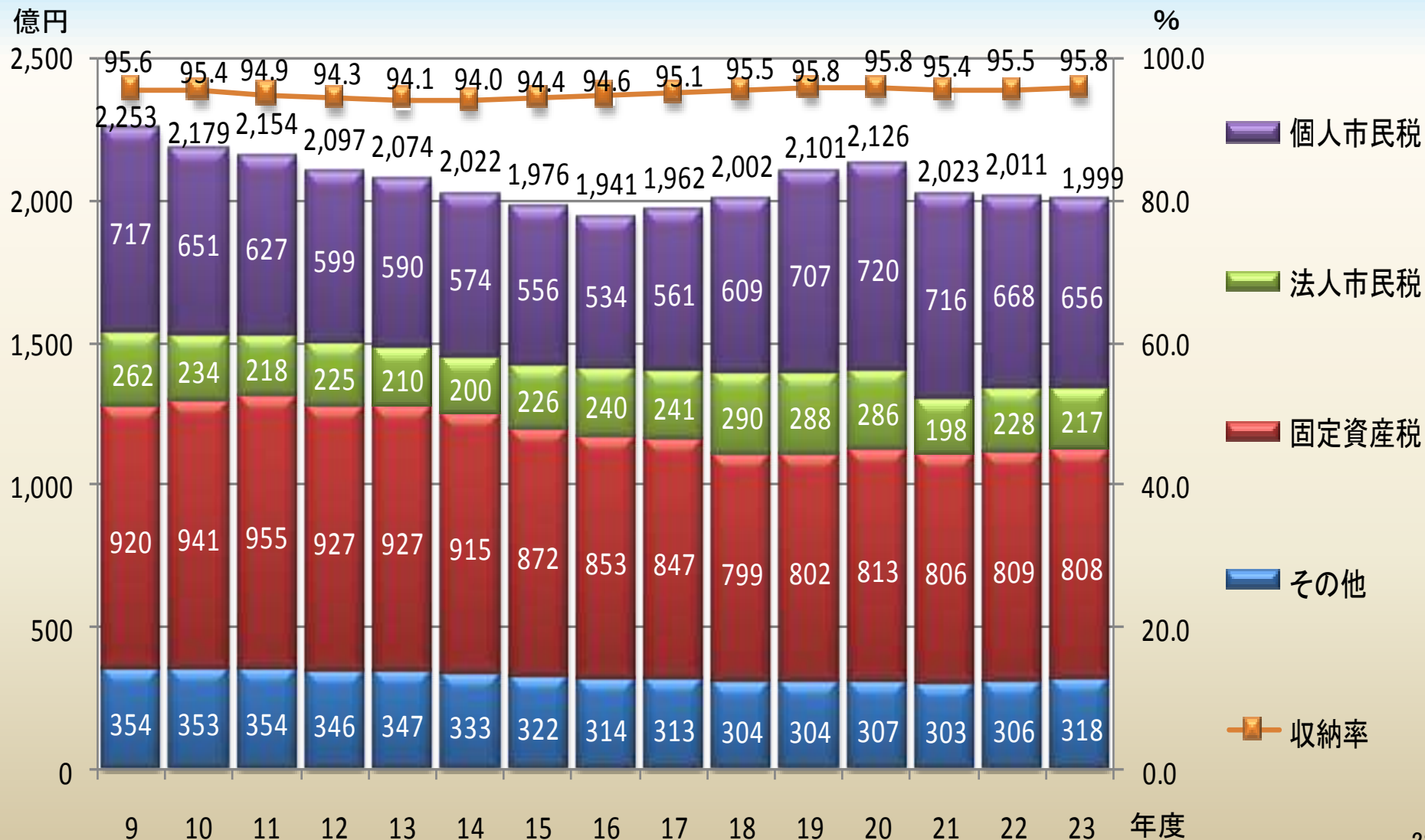


一般会計歳出 5,835億円



市税収入決算の推移

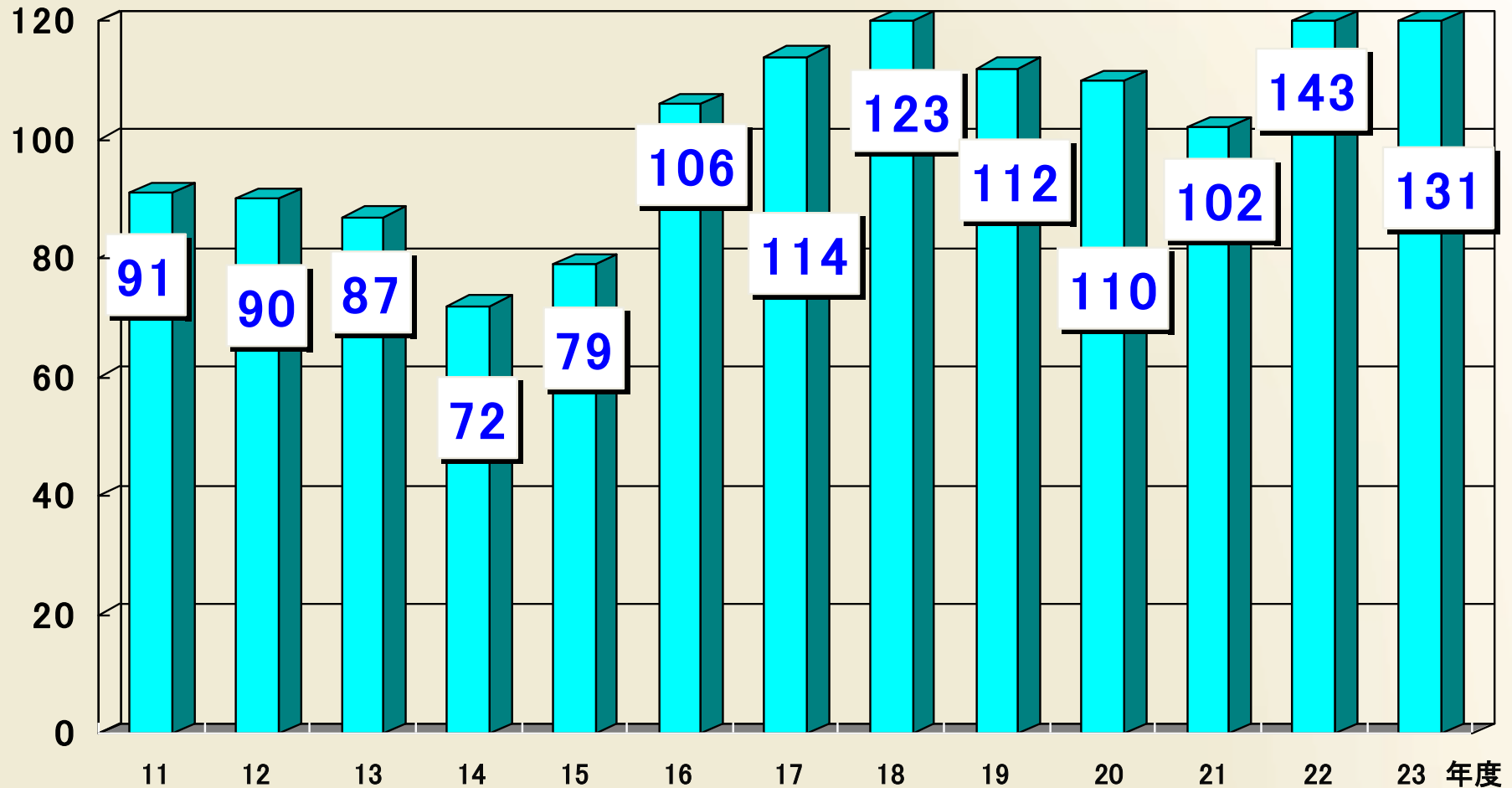
■ 個人市民税 12億円の減 法人市民税 11億円の減 固定資産税 1億円の減 収納率0.3ポイント改善



財政調整基金残高の推移

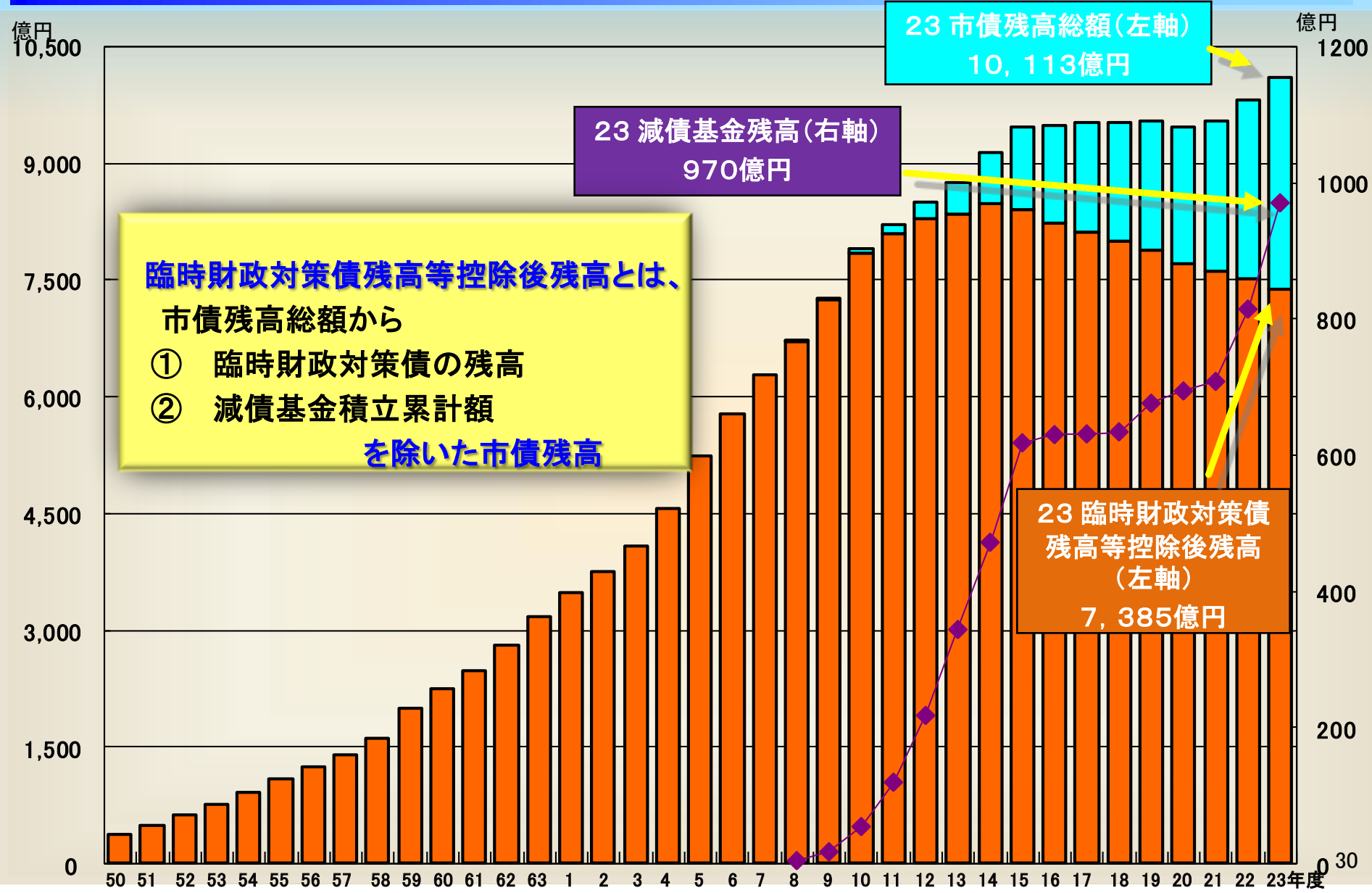
～予算・決算等の状況～

億円



一般会計市債残高の推移

～予算・決算等の状況～



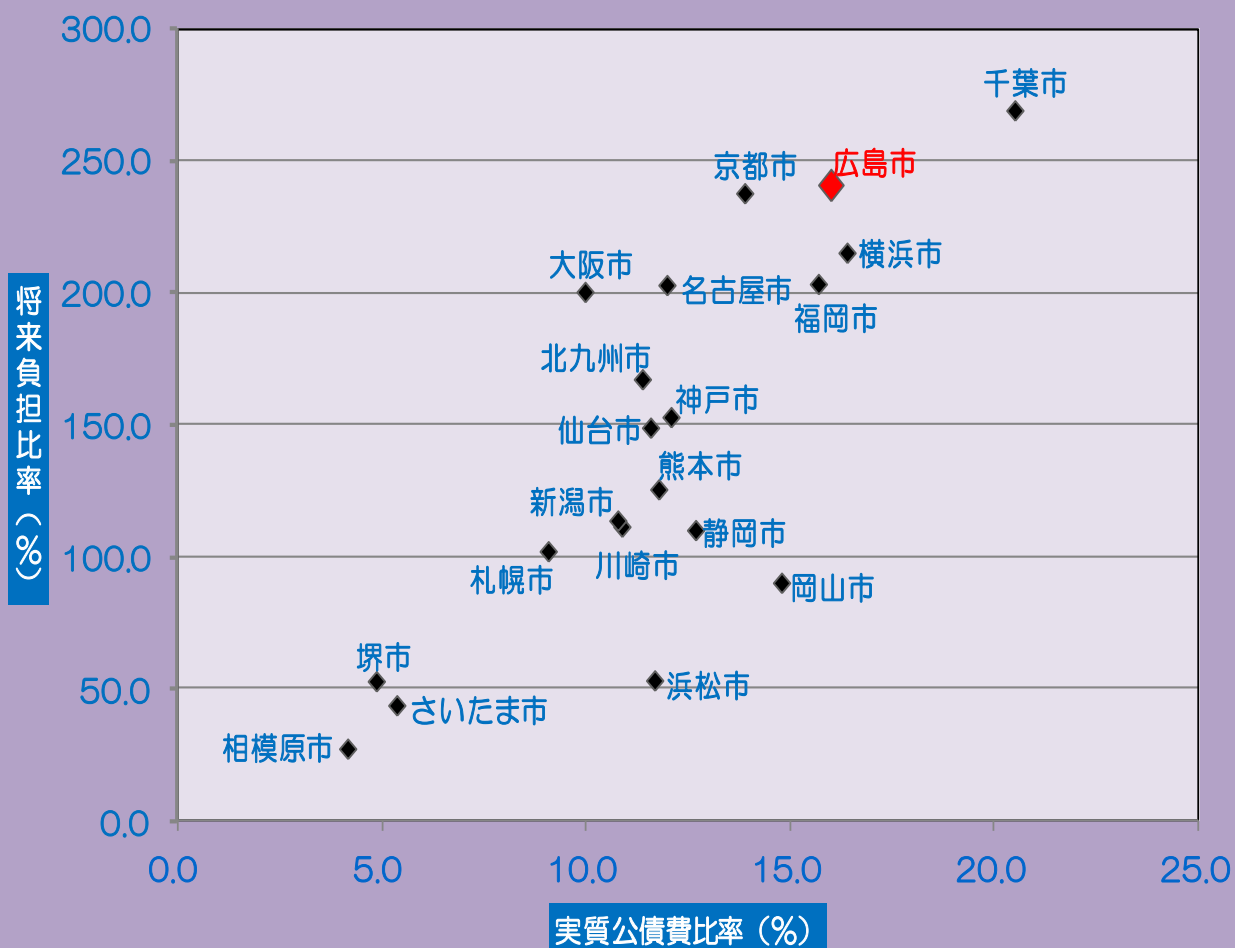
健全化判断比率の状況

～広島市の財政の現状分析～

■ 実質公債費比率、将来負担比率とも基準値に達していない。

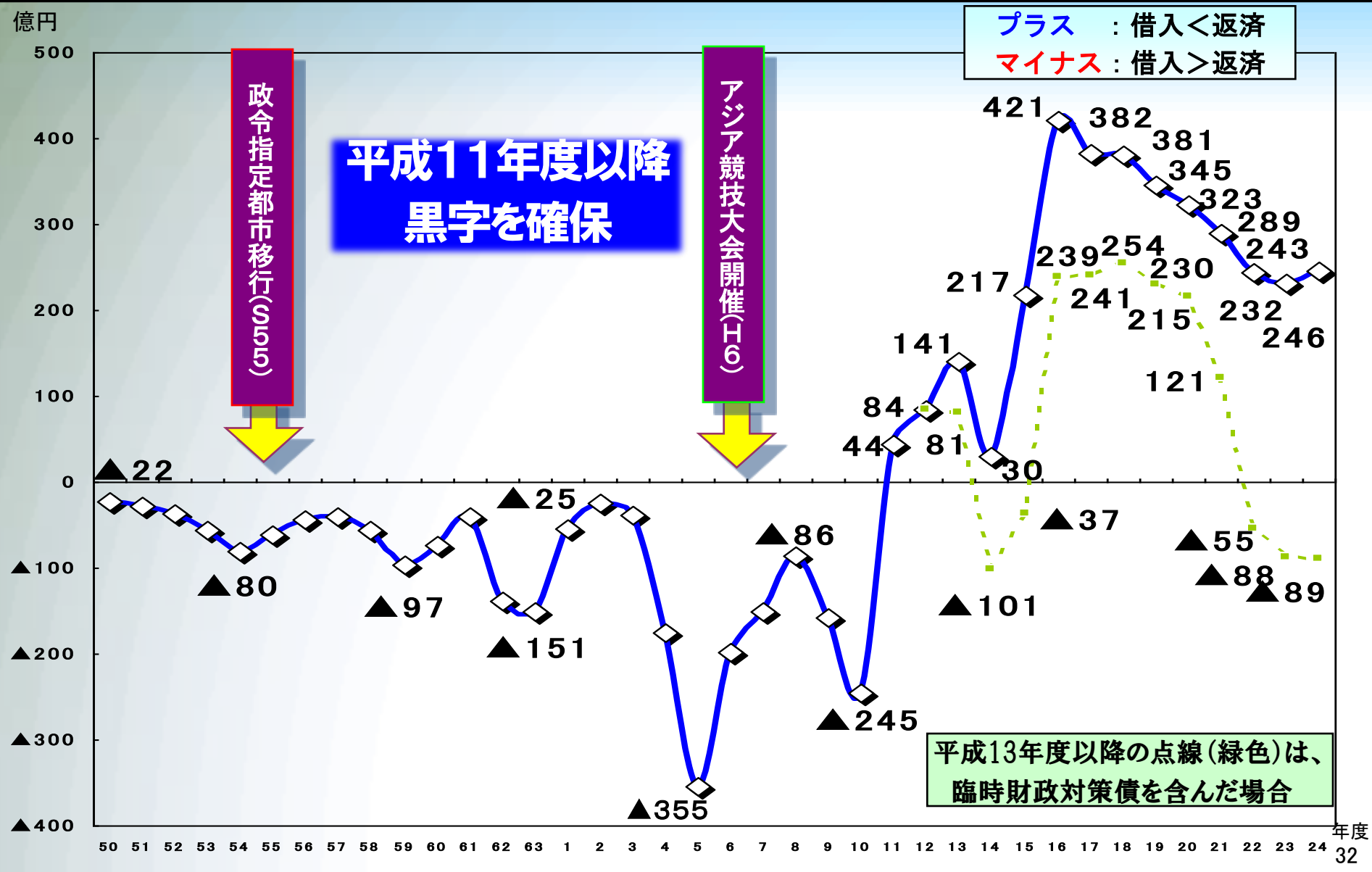
区分	広島市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	16.25	30.00
実質公債費比率	16.0	25.0	35.0
将来負担比率	239.9	400.0	

政令市の健全化判断比率の分布状況（23年度決算）



プライマリーバランスの推移

～広島市の財政の現状分析～



広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

貸借対照表（バランスシート）（平成24年3月31日現在）

	資産の部			負債の部			
	普通会計	単体	連結		普通会計	単体	連結
公共資産	2兆5,612億円	3兆9,404億円	4兆2,447億円	固定負債	1兆327億円	1兆6,722億円	1兆8,082億円
投資等	3,806億円	2,804億円	1,603億円	流動負債	890億円	1,720億円	2,373億円
流動資産	274億円	843億円	970億円	負債合計	1兆1,217億円	1兆8,442億円	2兆455億円 (2兆347億円) [+108億円]
				純資産の部			
					普通会計	単体	連結
				純資産合計	1兆8,475億円	2兆4,609億円	2兆4,565億円
資産合計	2兆9,692億円	4兆3,051億円	4兆5,020億円 (4兆4,837億円) [+183億円]	負債及び 純資産合計	2兆9,692億円	4兆3,051億円	4兆5,020億円

※（ ）書は前年度（22年度）末の値、[]書は対前年度比較の値を記載しています。

左側に「資産」、右側に「負債」と「純資産」を対照表示したもので、年度末時点で、どのような資産をどのような財源で形成してきたかを表しています。

連結ベースの資産は、減債基金の増等により183億円の増となっています。負債は、臨時財政対策債の増等により連結ベースで108億円の増となっています。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

行政コスト計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結		
			23年度	22年度	比較
経常費用	4,183 億円	6,792 億円	7,958 億円	7,773 億円	+185 億円
人にかかるコスト	890 億円	1,233 億円	1,385 億円	1,373 億円	+12 億円
物にかかるコスト	867 億円	1,316 億円	1,419 億円	1,373 億円	+46 億円
移転支出的なコスト	2,241 億円	3,796 億円	4,680 億円	4,533 億円	+147 億円
その他のコスト	185 億円	447 億円	474 億円	494 億円	△20 億円
経常収益	220 億円	1,225 億円	1,431 億円	1,388 億円	+43 億円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	3,963 億円	5,567 億円	6,527 億円	6,385 億円	+142 億円

1年間の行政活動のうち、資産形成以外の活動に要した経費と、その財源となる使用料や手数料等の収入の関係を表しています。

連結ベースの経常費用は、子ども手当や生活保護費などの社会保障給付や国民健康保険事業等に係る保険給付費の増等に伴う移転支出的なコストの増等により185億円の増、経常収益は、病院事業の入院・外来収益の増等により43億円の増となっています。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

純資産変動計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結
期首純資産残高	1兆 8,331 億円	2兆 4,370 億円	2兆 4,488 億円
財源の変動	△242 億円	△44 億円	△28 億円
資産形成充当財源の変動	+386 億円	+283 億円	+104 億円
その他の純資産の変動	-	-	+1 億円
当期変動額	+144 億円	+239 億円	+77 億円
期末純資産残高	1兆 8,475 億円	2兆 4,609 億円	2兆 4,565 億円

バランスシートにおける純資産（国・県や、過去及び現世代が負担した将来返済が不要な財産）の1年間の増減を表しています。

※ 連結対象団体の追加に伴い、連結ベースの期首純資産残高は、22年度の期末純資産残高と一致しません

資金収支計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結
期首資金残高	175 億円	460 億円	552 億円
経常的収支	453 億円	1,042 億円	1,138 億円
資本的収支	△542 億円	△718 億円	△759 億円
財務的収支	77 億円	△241 億円	△287 億円
当期資金収支額	△12 億円	83 億円	92 億円
経費負担割合変更に伴う差額	-	-	0
期末資金残高	163 億円	543 億円	644 億円

1年間の資金の増減を「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」の3つに区分して表示したもので、どのような活動に資金が必要であったかを表しています。

※ 連結対象団体の追加に伴い、連結ベースの期首資金残高は、22年度の期末資金残高と一致しません。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

市民1人あたりの状況

項 目		市民1人当たり数値				
		普通会計	単 体	連 結		
				23 年度	22 年度	比 較
貸借対照表	資産額	256 万円	370 万円	387 万円	387 万円	-
	負債額	97 万円	159 万円	176 万円	176 万円	-
	純資産額	159 万円	211 万円	211 万円	211 万円	-
行政コスト計算書	経常費用	36 万円	58 万円	68 万円	67 万円	+1 万円
	経常収益	2 万円	10 万円	12 万円	12 万円	-
	純経常費用	34 万円	48 万円	56 万円	55 万円	+1 万円

- 数値は各年度末(3月31日)現在の住民基本台帳人口(23年度1,162,032人、22年度1,159,388人)を基に算出
- 市民1人当たりの負債額は連結で176万円であり、そのうち97万円は、主に市税により返済される。差額79万円は、主に下水道(47万円)、広島高速道路公社(9万円)、水道(9万円)、病院(6万円)の負債であり、主に使用料収入等により返済される。

市債の紹介

市債とは

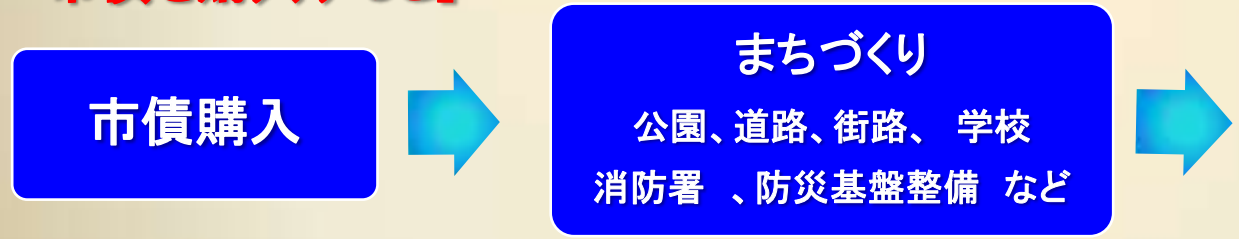
「市債の役割」

一時的に多額の出費を必要とする公共施設の建設などの財源確保を図り、その返済を元利償還という形で長期間分割することにより、財政負担を平準化し、世代間の負担の公平性を保つことができます。

「市債の用途」

「世界に誇れるまち」を実現するための都市基盤整備や市民生活に身近な公共施設整備などに活かされています。

「市債を購入すると」



安全確実な地方債

元利償還に対する国の財源保障	起債協議制度	減債基金を活用した計画的な負債管理	財政再建制度	BIS規制 リスクウエイト 0%	行財政改革の積極的な推進
----------------	--------	-------------------	--------	------------------------	--------------

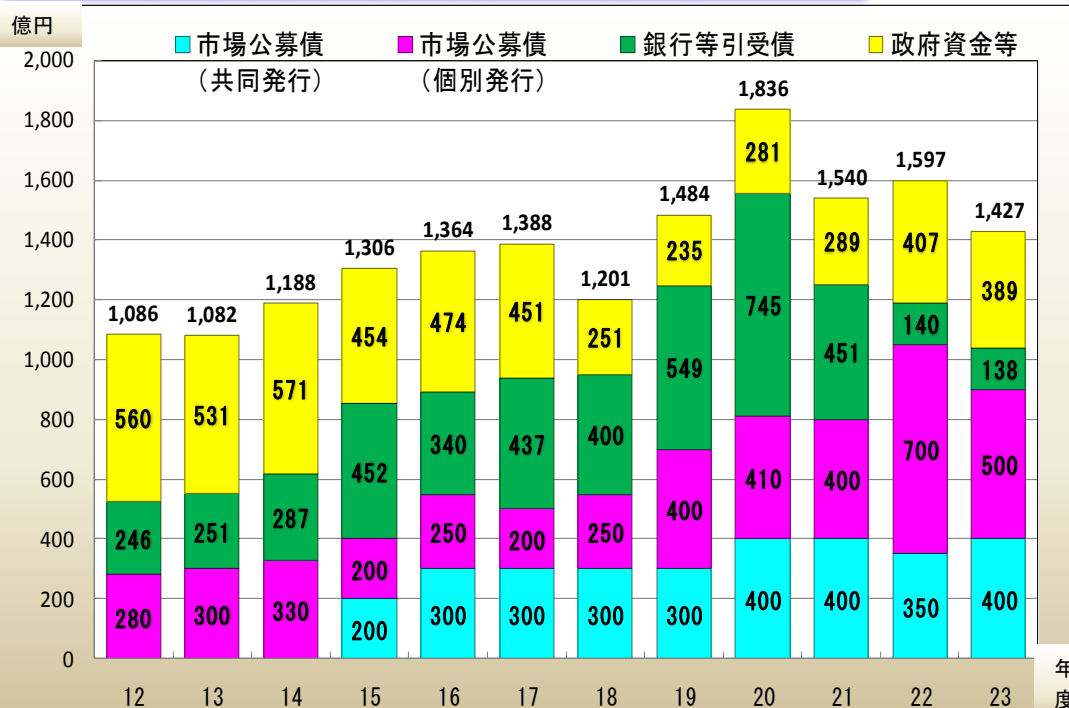
起債運営方針

資金調達の方針 ～政府資金等から民間資金へ～

「市場公募債の発行及び安定消化の継続」

- 全国型市場公募債(10年債)を昭和57年度から継続して発行、平成22年度から5年債も発行
- 共同発行市場公募債の発行に平成15年度から参加
- 流動性向上のため、年間を通じ発行を平準化、発行規模も増加
- 超長期債など年限の多様化も継続して検討

市債発行額の推移



市債の直近の発行実績

回数	年限	発行日	発行額	表面利率	応募者利回り
平成23年度第1回	5年	H23.9.26	100億円	0.34%	0.350%
平成23年度第2回	10年	H23.10.25	100億円	1.00%	1.006%
平成23年度第3回	5年	H23.12.26	100億円	0.40%	0.406%
平成23年度第4回	10年	H23.12.26	100億円	1.06%	1.067%
平成23年度第5回	10年	H24.2.27	100億円	1.01%	1.016%
平成24年度第1回	5年	H24.10.25	100億円	0.22%	0.226%

～広島市債について～

発行計画

平成24年度広島市債発行計画

※単位:億円、発行額は全会計ベース(借換債含む。)

市場公募債	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別発行	5年							100						100
	10年									100		100		200
共同発行	10年		40		40		40		60		60		60	300
合計		0	40	0	40	0	40	100	60	100	60	100	60	600

広島市債引受シンジケート団

5年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.0	大和証券	11.0
みずほコーポレート銀行	13.5	SMB C日興証券	10.0
みずほ銀行	2.0	野村證券	10.0
三井住友銀行	2.0	みずほ証券	5.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
新生銀行	2.0	みずほインベスターズ証券	4.5
三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
計[9]	50.0	計[9]	50.0

10年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.0	大和証券	11.0
みずほコーポレート銀行	13.5	SMB C日興証券	10.0
みずほ銀行	2.0	野村證券	10.0
三井住友銀行	2.0	みずほ証券	5.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
新生銀行	2.0	みずほインベスターズ証券	4.5
三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
計[9]	50.0	計[9]	50.0

- 借入予定総額は1,476億円
うち民間資金借入予定額は1,162億円
(全体の78.7%)
- 市場公募債の発行予定総額は600億円
(全体の40.7%)
うち広島市個別発行分は300億円
(全体の20.3%)
- 銀行等引受債の発行予定額は562億円
(全体の38.1%)

【本資料に関するお問い合わせ先】

広島市財政局財政課資金係

TEL 082-504-2074

FAX 082-504-2099

E-mail zaisei@city.hiroshima.lg.jp

ホームページ

広島市ホーム → 市政全般 → 広島市の概要

→ 市の財政 → 市債・投資家情報